

日本事情 (Japanese Culture)

日本事情 III (Japanese Culture 3)

(留(留))

三隅 友子・教授/国際センター

2単位 前期 木 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『日本事情』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『日本事情』)

【授業の目的】 大学生にとって必要な日本語の知識と能力を身につける。ニュースを含めた現代日本の時事問題を通して総合的な日本語力をつける。また日本語能力試験等の能力をつけたい受講者が多い場合にはその内容を加える予定である。

【授業の概要】 時事問題に関しては、NHK の番組「視点論点」からトピックを選び、番組の視聴と共にそれに関連した新聞雑誌の記事から情報を読み取る。さらに、自分の意見をまとめて書き、発表するといった総合的な日本語力をつける。

【キーワード】 メディア、ニュース、講義を聞く、提言を書く

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. ミニ・講義を理解する。
2. テーマに関連した文献を読む。
3. 自分の意見をまとめ、発表する力をつける。

【授業の計画】

1. ガイダンス (授業の説明とレベルチェック)
2. ミニ講義を聞く①
3. テーマに関連した文献を読む①
4. テーマに関して話し合い、意見を書く①
5. ミニ講義を聞く②
6. テーマに関連した文献を読む②
7. テーマに関して話し合い、意見を書く②
8. ミニ講義を聴く③
9. テーマに関連した文献を読む③
10. テーマに関して話し合い、意見を書く③
11. ミニ講義を聞く④
12. テーマに関連した文献を読む④
13. テーマに関して話し合い、意見を書く④
14. 自分にとってのテーマを選んで調べて提言を書く

15. 発表会 (地域の方々や及び日本人学生の前を聴衆として)

16. まとめ < 状況によっては、授業の内容や計画が変更される場合があります。 >

【教科書】 無

【参考書等】 番組のスク립トや参考資料を適宜配布。

【成績評価の方法】 出席点 60%，レポート 20%，発表 20% で評価する。

【再試験の有無】 無

【受講者へのメッセージ】 日本語で「読む」「聞く」「話す」「書く」の活動をたくさん行います。予習復習も必要です。積極的に授業に取り組んでください。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220788>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 三隅 (国際センター, 088-656-7120, misumi@isc.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 金曜日午前中)

【備考】 H17 のカリキュラムでは授業科目:日本語 4

Japanese Culture

Japanese Culture 3

(留(留))

Tomoko Gehrtz- Misumi · PROFESSOR / INTERNATIONAL CENTER

2 units 前期 木 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目: 『日本事情』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『日本事情』)

Target) 大学生にとって必要な日本語の知識と能力を身につける。ニュースを含めた現代日本の時事問題を通して総合的な日本語力をつける。また日本語能力試験等の能力をつけたい受講者が多い場合にはその内容を加える予定である。

Outline) 時事問題に関しては、NHK の番組「視点論点」からトピックを選び、番組の視聴と共にそれに関連した新聞雑誌の記事から情報を読み取る。さらに、自分の意見をまとめて書き、発表するといった総合的な日本語力をつける。

Keyword) メディア, ニュース, 講義を聞く, 提言を書く

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal)

1. ミニ・講義を理解する。
2. テーマに関連した文献を読む。
3. 自分の意見をまとめ、発表する力をつける。

Schedule)

1. ガイダンス (授業の説明とレベルチェック)
2. ミニ講義を聞く①
3. テーマに関連した文献を読む①
4. テーマに関して話し合い、意見を書く①
5. ミニ講義を聞く②
6. テーマに関連した文献を読む②
7. テーマに関して話し合い、意見を書く②
8. ミニ講義を聴く③
9. テーマに関連した文献を読む③
10. テーマに関して話し合い、意見を書く③
11. ミニ講義を聞く④
12. テーマに関連した文献を読む④
13. テーマに関して話し合い、意見を書く④
14. 自分にとってのテーマを選んで調べて提言を書く
15. 発表会 (地域の方々や及び日本人学生の前を聴衆として)

16. まとめ < 状況によっては、授業の内容や計画が変更される場合があります。 >

Textbook) 無

Reference) 番組のスク립トや参考資料を適宜配布。

Evaluation Criteria) 出席点 60%, レポート 20%, 発表 20% で評価する。

Re-evaluation) 無

Message) 日本語で「読む」「聞く」「話す」「書く」の活動をたくさん行います。予習復習も必要です。積極的に授業に取り組んでください。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220788>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Gehrtz- Misumi (International center, +81-88-656-7120, misumi@isc.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 金曜日午前中)

Note) H17 のカリキュラムでは授業科目: 日本語 4